

2023年05月01日

FW11.24~



# Trimble GFX-750 防除畝設定

# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・トラムラインの設定  
トラムラインとは作成したAB線に任意の間隔で防除畝を設定する機能。



をタップする。

# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・ トラムラインの設定  
トラムラインとは作成したAB線に任意の間隔で防除畝を設定する機能。




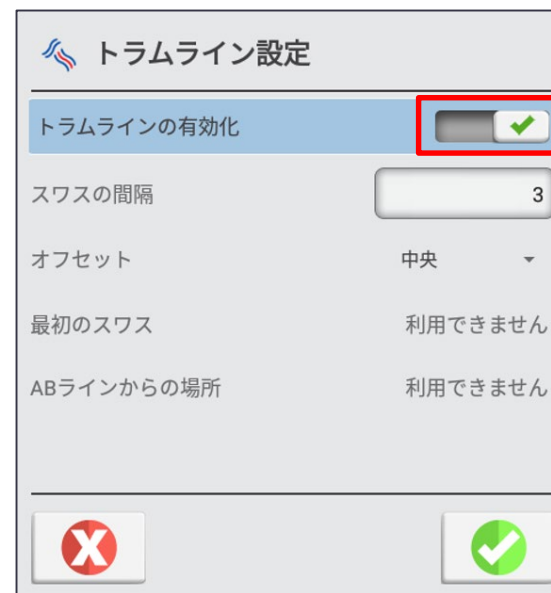
実行画面で使用中のAB線が有効になっています。  
他のAB線を使いたい場合は、目的のAB線を選択して有効化をタップする。

# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・ トラムラインの設定  
トラムラインとは作成したAB線に任意の間隔で防除畝を設定する機能。



- ・ 「ガイドンスパターン」をタップする。  
次に、 をタップする。
- ・ トラムラインを有効化する。



# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・ トラムラインの設定  
トラムラインとは作成したAB線に任意の間隔で防除畝を設定する機能。

トラムライン設定

トラムラインの有効化

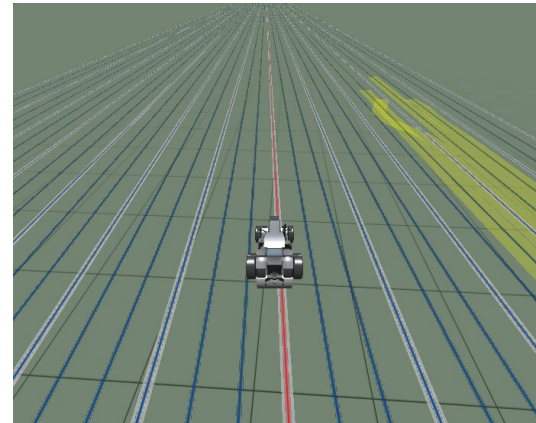
スワスの間隔

オフセット 中央

最初のスワス

ABラインからの場所 ライン上

- ・ 「畝の間隔」 → 防除畝の間隔を決定する。トラムライン設定したAB線は白くハイライトされる。





# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・ トラムラインの設定  
トラムラインとは作成したAB線に任意の間隔で防除畝を設定する機能。

トラムライン設定

トラムラインの有効化

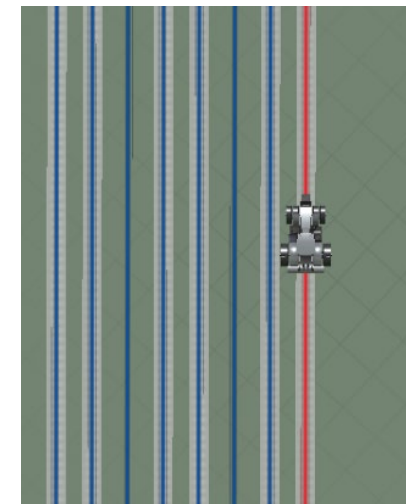
スワスの間隔

オフセット 中央

最初のスワス

ABラインからの場所 ライン上

- ・ 「オフセット」 → 中央を選択するとトラムラインが指定間隔毎に1本できる。  
左/右を選択すると中央の1本に加え、左右選択した方にもう1本トラムラインが設定できる。



# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・トラムラインの設定  
トラムラインとは作成したAB線に任意の間隔で防除畝を設定する機能。

トラムライン設定

トラムラインの有効化

スワスの間隔

オフセット 中央

最初のスワス

ABラインからの場所 ライン上

- ・「最初の畝・ABラインからの場所」  
→トラムライン設定時にトラクターが位置するAB線情報が反映される。

※「利用できません」と表示されている場合は、実行画面での設定（次の2ページ分）を先に設定し、リトライする。

# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・ ترامラインの設定  
 ترامラインとは作成したAB線に任意の間隔で防除畝を設定する機能。

トラムライン設定


トラムラインの有効化

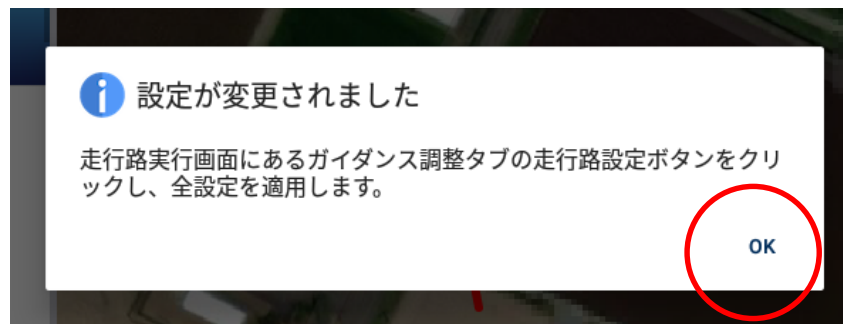
スワスの間隔

オフセット 中央 ▾

最初のスワス 利用できません

ABラインからの場所 利用できません

- ・  をタップし、設定を完了させる。
- ・ 完了させるとメッセージが出るので「OK」をタップ

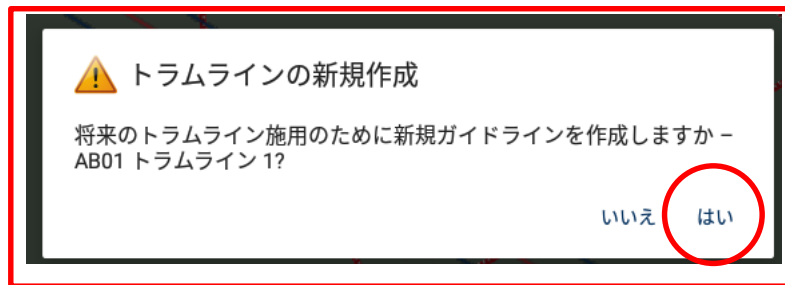




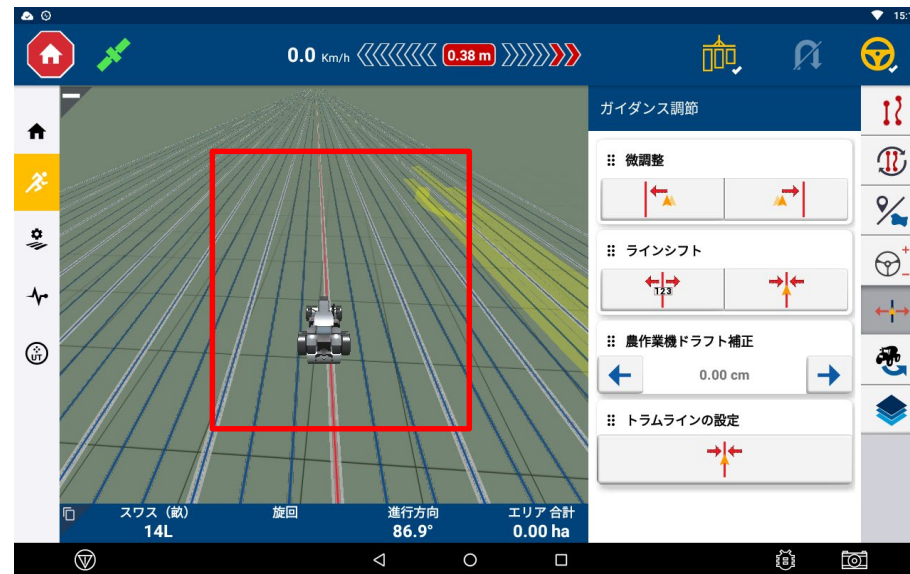
# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・トラムラインの設定  
トラムラインとは作成したAB線に任意の間隔で防除畝を設定する機能。

実行画面へ行き、トラムラインの設定を反映させる手順。



- ・実行画面上のトラムラインの設定をタップすると、メッセージが出るので「はい」を押す。



- ・トラムラインが反映される。

# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・トラムラインの設定  
トラムラインとは作成したAB線に任意の間隔で防除畝を設定する機能。

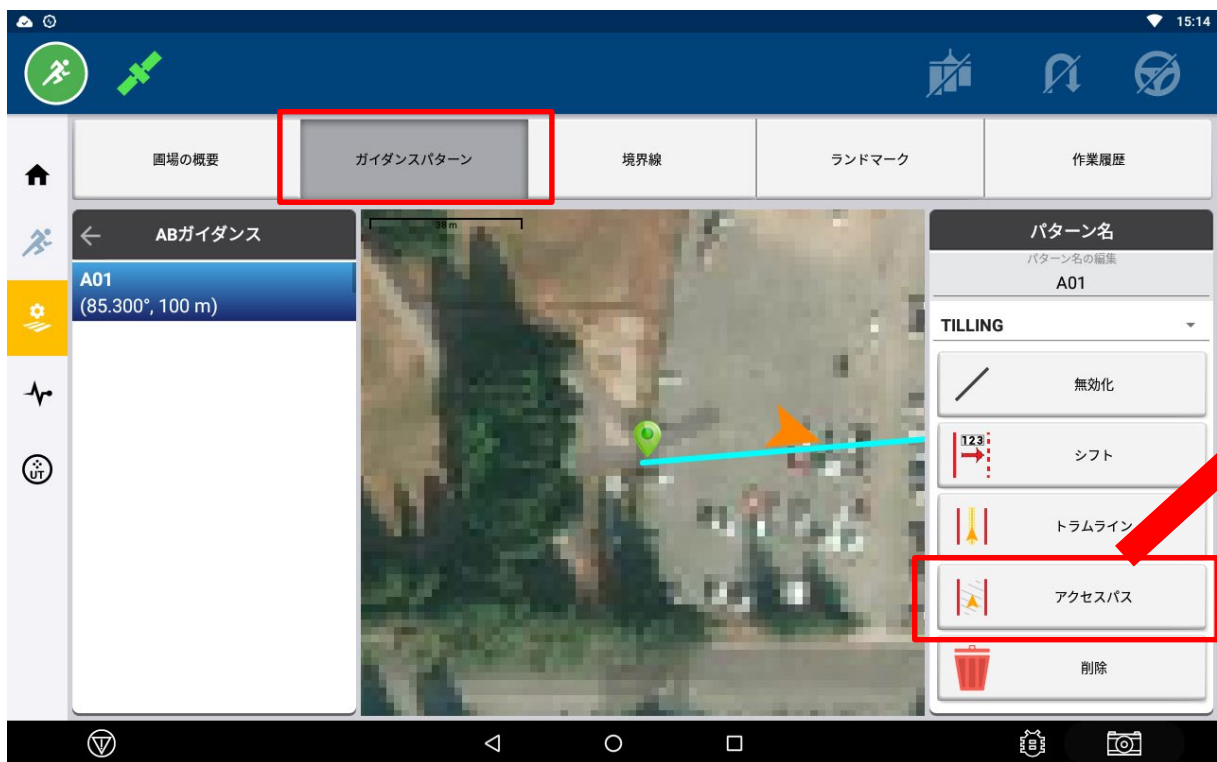
トラムラインを設定すると圃場データにトラムラインが反映されたAB線が新規で登録される。

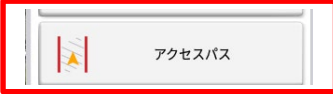


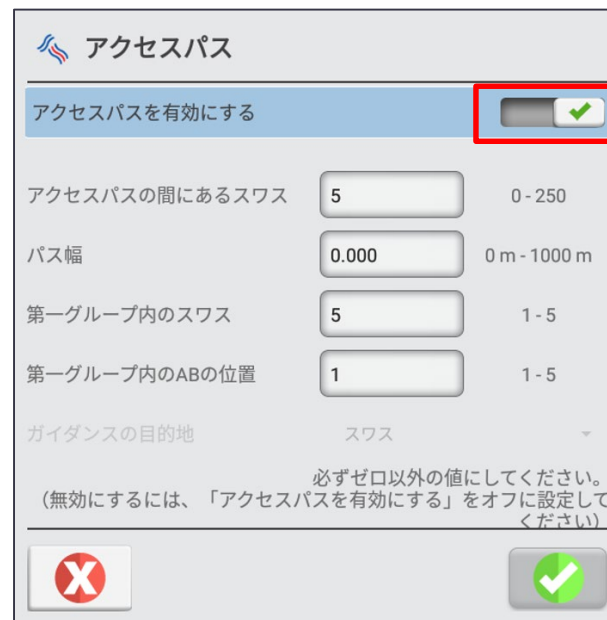
- ・トラムラインが反映したAB線が新規で作成される。

# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・ アクセスパスの設定  
アクセスパスとは防除畝を任意の距離空ける機能



- ・ 「ガイドンスパターン」をタップする。  
次に、 をタップする。
- ・ アクセスパスを有効化する。



# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・ アクセスパスの設定  
アクセスパスとは防除畝を任意の距離空ける機能

アクセスパス

アクセスパスを有効にする

アクセスパスの間にあるスワス  0 - 250

パス幅  0 m - 1000 m

第一グループ内のスワス  1 - 5

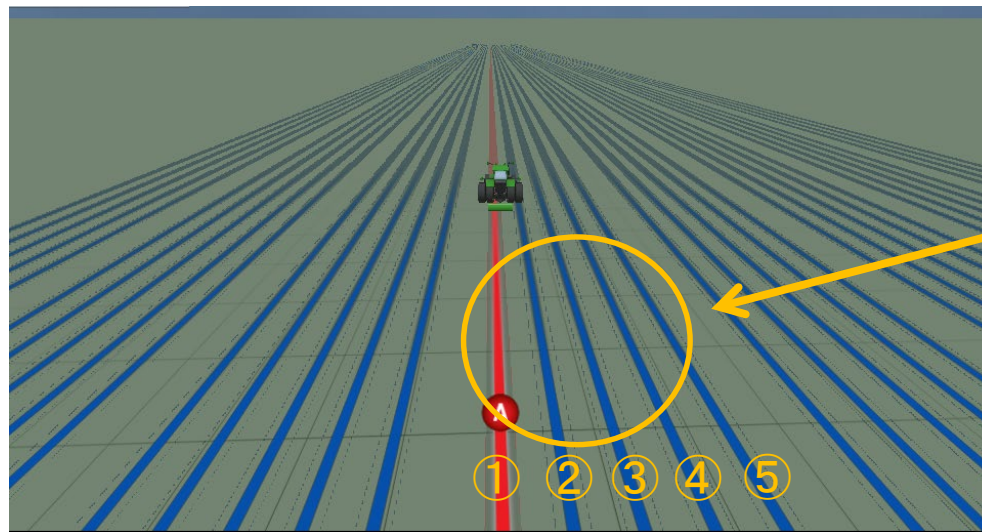
第一グループ内のABの位置  1 - 5

ガイダンスの目的地 スワス

必ずゼロ以外の値にしてください。  
(無効にするには、「アクセスパスを有効にする」をオフに設定してください)

- ・ 「アクセスパスの間にあるスワス」  
→ 防除畝の間にある畝数を入力する

※例えば、5と入力すると畝幅×5本のライン毎に防除畝ができる



5本



# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・ アクセスパスの設定  
アクセスパスとは防除畝を任意の距離空ける機能

アクセスパス

アクセスパスを有効にする

アクセスパスの間にあるスワス  0 - 250

**パス幅**  0 m - 1000 m

第一グループ内のスワス  1 - 5

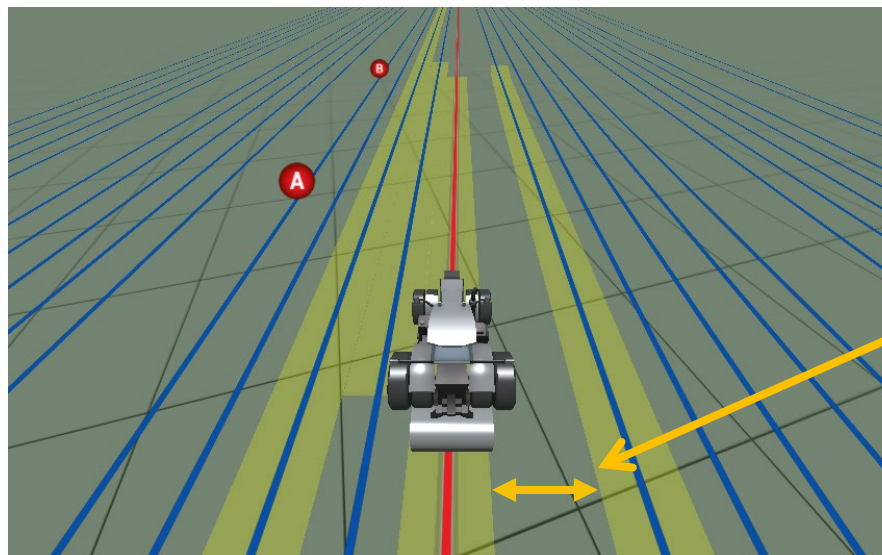
第一グループ内のABの位置  1 - 5

ガイダンスの目的地

必ずゼロ以外の値にしてください。  
(無効にするには、「アクセスパスを有効にする」をオフに設定してください)

- ・ 「パス幅」→防除畝の間隔を入力する

※例えば、2.5と入力すると5本畝毎に2.5m空いて  
また、5本畝毎に2.5m空いてを繰り返す。単位はm





# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・ アクセスパスの設定  
アクセスパスとは防除畝を任意の距離空ける機能

アクセスパス

アクセスパスを有効にする

アクセスパスの間にあるスワス  0 - 250

パス幅  0 m - 50 m

**第一グループ内のスワス  1 - 5**

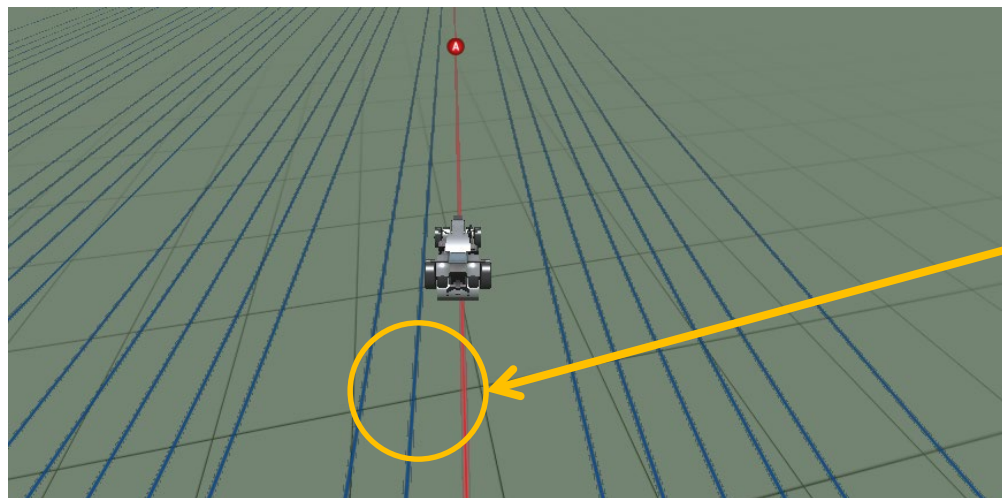
第一グループ内のABの位置  1 - 5

ガイダンスの目的地

必ずゼロ以外の値にしてください。  
(無効にするには、「アクセスパスを有効にする」をオフに設定してください)

- ・ 「第一グループ内のスワス」  
→防除畝設定の基準となる畝グループの畝数を設定。

※例えば、3と入力するとAB線を作成した畝グループは3本になり、それ以降5本間隔で防除畝が作成させる。  
AB線を作成した場所が基準（第一グループ）



3本

# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- アクセスパスの設定  
アクセスパスとは防除畝を任意の距離空ける機能

アクセスパス

アクセスパスを有効にする

アクセスパスの間にあるスワス  0 - 250

パス幅  0 m - 50 m

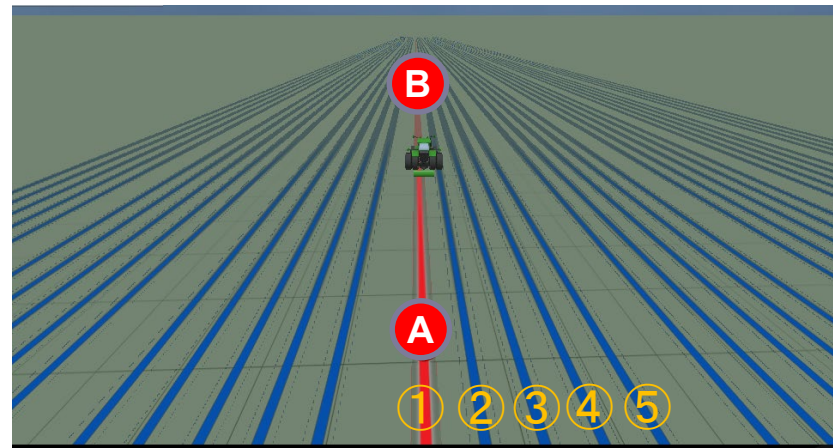
第一グループ内のスワス  1 - 5

第一グループ内のABの位置  1 - 5

ガイダンスの目的地

必ずゼロ以外の値にしてください。  
(無効にするには、「アクセスパスを有効にする」をオフに設定してください)

- 「第一グループ内のABの位置」  
→AB線を作成した場所を第一グループ内の左から何番目にするかを入力。（A点を手前にして）  
※例えば、1と入力するとAB線を作成した場所が左から1本目になるよう設定される。  
（右側に4本ガイダンスラインが並ぶ）



# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・ アクセスパスの設定  
アクセスパスとは防除畝を任意の距離空ける機能

アクセスパス

アクセスパスを有効にする

アクセスパスの間にあるスワス  0 - 250

パス幅  0 m - 50 m

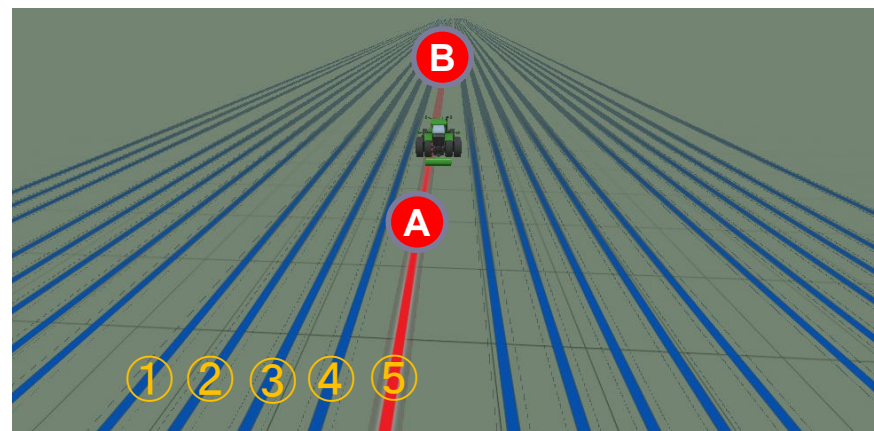
第一グループ内のスワス  1 - 5

**第一グループ内のABの位置  1 - 5**

ガイダンスの目的地

必ずゼロ以外の値にしてください。  
(無効にするには、「アクセスパスを有効にする」をオフに設定してください)

- ・ 「第一グループ内のABの位置」  
→ AB線を作成した場所を第一グループ内の左から何番目にするかを入力。（A点を手前にして）  
※例えば、5と入力するとAB線を作成した場所が左から5本目になるよう設定される。  
（右側に設定したパス幅の隙間ができる）



# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・ アクセスパスの設定  
アクセスパスとは防除畝を任意の距離空ける機能

アクセスパス

アクセスパスを有効にする

アクセスパスの間にあるスワス  0 - 250

パス幅  0 m - 1000 m

第一グループ内のスワス  1 - 5

第一グループ内のABの位置  1 - 5

ガイダンスの目的地 スワス

必ずゼロ以外の値にしてください。  
(無効にするには、「アクセスパスを有効にする」をオフに設定してください)

## ・ 注意点

アクセスパスの間にあるスワスの入力値が第一グループ内の畝の最大値になる

第一グループ内のスワスの入力値が第一グループ内のABの位置の最大値になる

※第一グループは現在地ではなくAB線を作った場所である



# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・アクセスパスの設定  
アクセスパスとは防除畝を任意の距離空ける機能

アクセスパス

アクセスパスを有効にする

アクセスパスの間にあるスワス  0 - 250

パス幅  0 m - 1000 m

第一グループ内のスワス  1 - 5

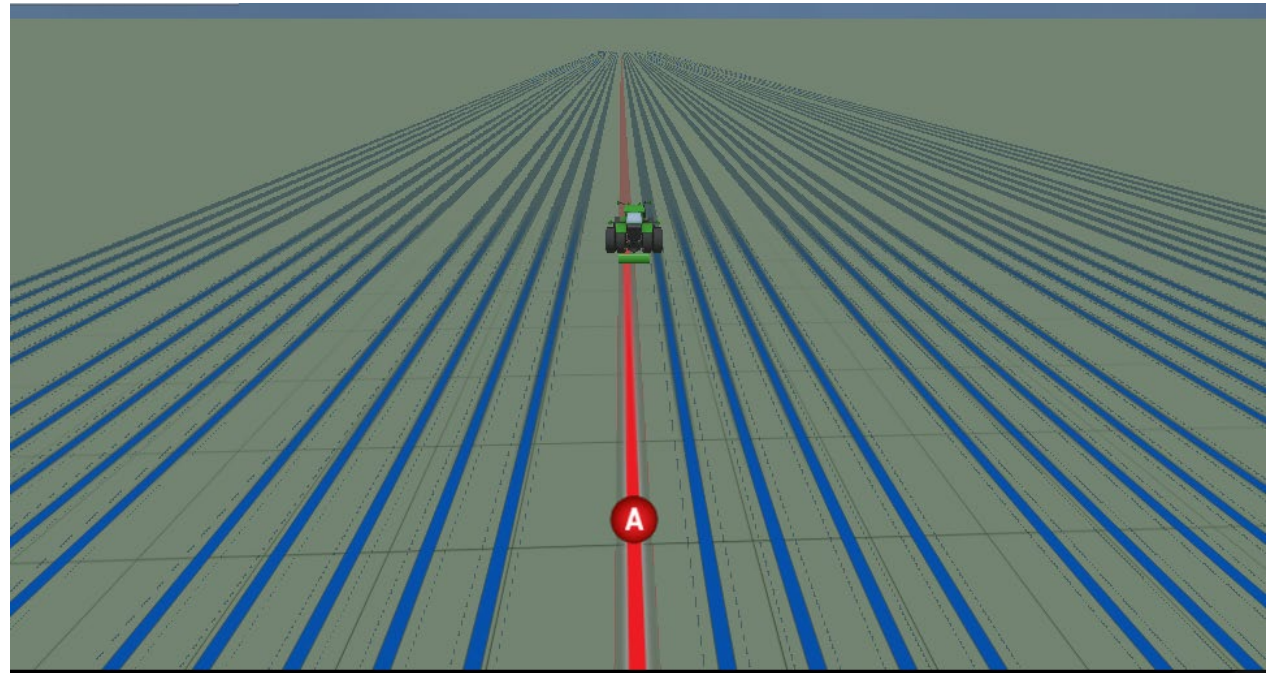
第一グループ内のABの位置  1 - 5

ガイダンスの目的地 スワス

必ずゼロ以外の値にしてください。  
(無効にするには、「アクセスパスを有効にする」をオフに設定してください)



をタップし設定完了





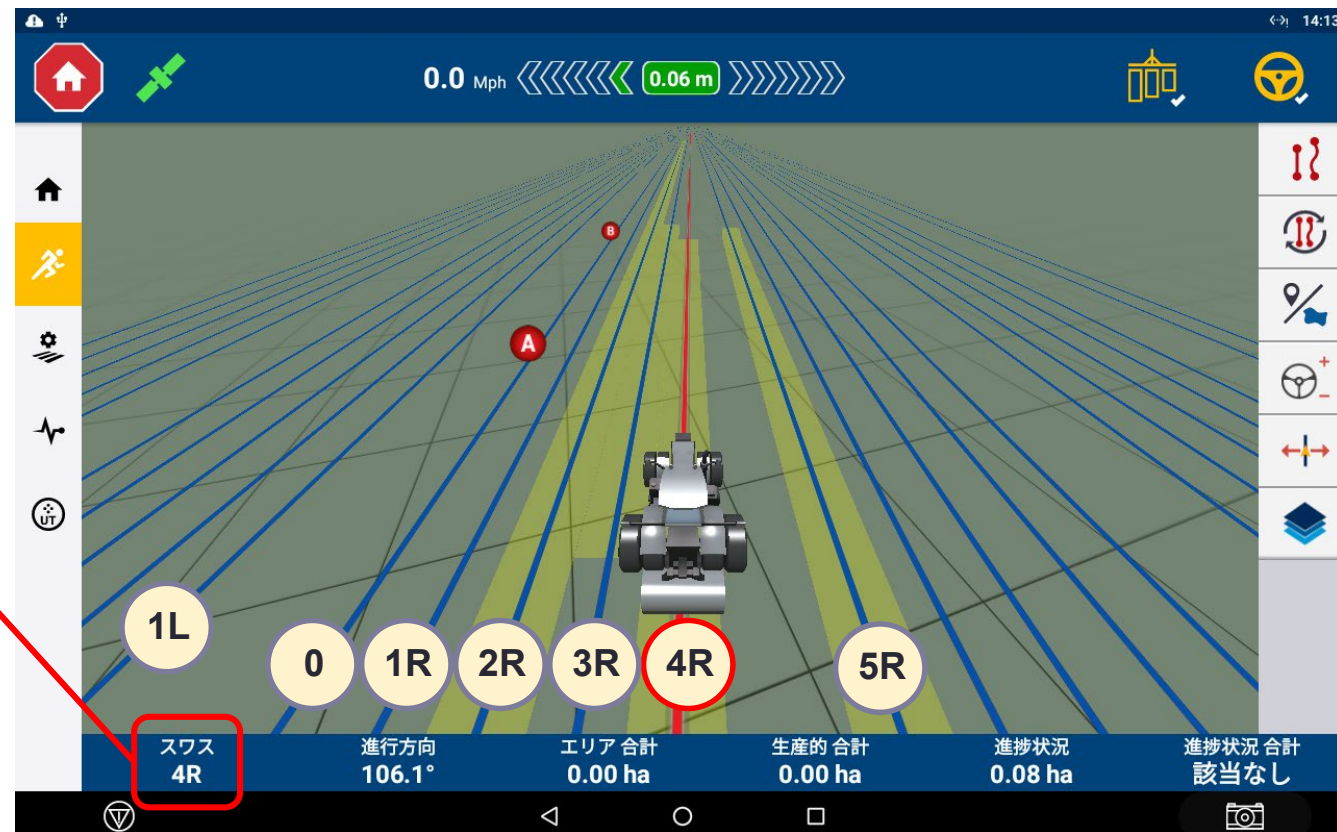
# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・ アクセスパスの設定  
アクセスパスとは防除畝を任意の距離空ける機能

現在地の確認

現在地の確認はここを確認  
4Rの場合はAB線を作成した位置から  
4本右のライン（赤線表示）の上にいる  
という意味

2Lのときは2本左にいるという意味

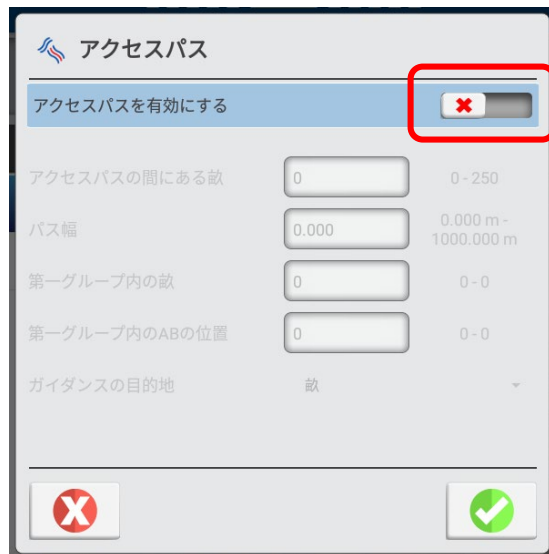


# Trimble GFX-750 実行画面（防除畝設定）

- ・アクセスパスの設定  
アクセスパス設定での注意点
- アクセスパス設定有効化/無効化について

アクセスパス設定を有効にした状態で、新規圃場を作成しその圃場でAB線を作成するとアクセスパス設定の設定が残ってしまう場合がある。

アクセスパス設定が新規圃場で不必要な場合は、新規圃場を作成する前に必ずアクセスパス設定を無効化させる。



**必ず無効化にし、新規圃場を作成する**